

発行元：前橋市自立支援協議会

お問い合わせ先：

前橋市障害福祉課 前橋市自立支援協議会

広報啓発部会 事務局

電話027-220-5711 Fax027-223-8856

ホームページ https://www.city.maebashi.gunma.jp/kenko_fukushi/4/10/1/11867.html

【題字】 佐伯 亜矢子さん（富士見福祉作業所）

みんなの らいふ

みんなのアーティスト(作品紹介)



【作品名】 太陽神

【作者】 孫 娛慈羅

(そん ごじら)
さん

【作品の説明】

太陽は自分自身を表しており、全ての作品に太陽を入れています。

人はみな二面性があると思います、この絵では人間が持つ二面性を描きました。

太陽の左側の顔は怒りやパニック等の興奮状態を、右側の顔は落ち着いている状態を表しています。

【作品名】 靴下キング

【作者】 孫 娛慈羅

(そん ごじら)
さん

【作品の説明】

普段私たちが使っている靴下を生き物にし、羽とコーヒータンブラを持って、キャタピラを付けてみました。靴下の中には人も乗っています。

また、絵の左側は夜を、右側は昼を表しています。



題字・作品募集

本紙に掲載する題字や作品（イラスト、挿絵等）を募集しています。あなたの作品で本紙に彩をそえていただけませんか。詳しくは事務局（連絡先は表紙上部に記載してあります）まで、お気軽にお問い合わせください。

次回の作品などの応募締切日は2月28日(金)です。

就労支援部会より「第7回企業と福祉の情報交換会 いまさら聞けない!! 障害者雇用」を開催しました!

就労支援部会では、11月21日(木)に「第7回企業と福祉の情報交換会 いまさら聞けない!! 障害者雇用」を開催しました。

今回の情報交換会は、障害者雇用に関する情報交換の機会を設けることで障害者雇用の促進を図ることを目的とし、企業の経営者、人事担当者、従業員、就労移行支援事業所の就労支援員等を対象に実施しました。

当日は企業、官公庁、就労移行支援事業所あわせて14事業所21人にご参加をいただき、大変有意義なものとなりました。



<助成金入門講座>

講師に前橋公共職業安定所・主任雇用指導官の坂井郁夫さんを迎え、障害者雇用の助成金制度の案内として、助成金入門講座を実施しました。

「障害者雇用の流れ・利用できるサービスや支援策」、「差別の禁止と合理的配慮義務」、「障害者雇用に関する支援制度・トライアル雇用の案内」、「特定求職者雇用開発助成金」等について解説があり、障害者雇用の助成金制度の基本事項について学びました。

<事例発表>

「精神障害・知的障害・発達障害のある方を実際に雇用している事業所による事例」について、パーソルサクス株式会社SI事業推進部長の西村俊輔さんから発表してもらいました。

『雇用している障害者への社会的自立支援のため大切にしていることは、「ほめて伸ばす」こと、お互いに「ありがとう」と言い合えること。そして、「挨拶・身だしなみ等基本的な生活習慣が身につけている」、「丁寧にまじめに仕事ができる」、「同僚を思いやれる」の3点ができるようになれば、技能スキルはおのずから上がってくる』というお話を伺いました。

『職業の適性を考える前に、まずは、健康管理、日常生活管理ができるように支援し、対人技能、基本的労働習慣を身につけた先に、職務への適性や職務遂行に必要な知識と技能の習得がある』という定着支援の方法等の事例を伺いました。



<いまさら聞けない!! お悩み相談(意見交換会)>

企業、官公庁、就労移行支援事業所の参加者、事務局及び協力関係機関が10~12人の4テーブルに分かれ、既に障害者を雇用している企業の体験談、これから初めて障害者を雇用する企業の不安点、就労移行支援事業所での訓練ポイント、障害の特性、相談先関係機関や利用方法などについて、活発な意見交換を行いました。



第8回みんなのフェスタを開催しました！



前橋市自立支援協議会・前橋市は、障害福祉の啓発事業の一環として、障害のある人もない人も共に出会い、交流できる場として「第8回みんなのフェスタ」を令和元年12月7日（土）に前橋市総合福祉会館2階多目的ホールなどで開催しました。

今回も障害者週間に合わせ、本番の開催を前にプレイベントとして前橋市役所1階市民ロビーで作品の一部を展示し「第8回みんなのフェスタ」の周知を図りました。



ステージ発表

「第8回みんなのフェスタ」では、前橋市内で活動している8団体による和太鼓、合唱やダンスなどのステージ発表、前橋市内の障害福祉関係施設の利用者などによる、70点あまりの絵画、貼り絵や立体作品を集めたアート展を行いました。

さらに今回は昨年実施した手話・点字・要約筆記・盲導犬の体験に加え、車いすやあんま・マッサージの体験コーナーも行いました。

各会場とも多くのご来場をいただき、約310人の参加者が活発に交流する機会となりました。

今後も、このようなイベントを継続し、すべての市民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら、共生できる社会の実現をめざします。



アート展



体験コーナー



たくさんのご来場
ありがとうございました！



こども部会より 

「前橋市療育ネットワーク推進会議研修会」

を開催しました！

前橋市自立支援協議会「こども部会」では、障害のある児童を支援している関係者が業務や支援方法に関して理解を深めるため、「前橋市療育ネットワーク推進会議研修会」を毎年開催しています。

今回は、11月28日（木）に、群馬県発達障害者地域支援マネジャーでもあるNPO法人リンケージ理事長の石川京子さんを講師としてお招きし、放課後等デイサービス及び相談支援事業所の職員を対象に「対応困難なケースへの対応について」をテーマに開催しました。

48人の出席者がグループワーク等により、支援の方法について議論し、認識を深めていただき、有意義な研修会となりました。

☆ ㊦ グループワークの様子



☆ ㊦ 講師による講評



編集後記

元号が変わり、早くも令和2年になりました。令和元年を振り返ってみれば、夏の暑さが厳しく、30度を超える日が30日以上ありました。また、日本に上陸した台風による記録的な大雨は、各地に大災害を引き起こしました。そんな中、ラグビーワールドカップでは日本がベスト8になり、日本中を歓喜させてくれた一年でもありました。

そして、私たちの企画したイベント『第8回

みんなのフェスタ』が、「障害のある人もない人も共生できる社会の実現」を目標に開催されました。ステージ発表や作品展示などを行い、障害の有無に関係なく出会いや交流ができたフェスタだったと思います。

令和2年は、夢いっぱい的一年になりますよう、お祈りいたします。

（長岡 俊充）

